

群馬のスポーツ人(22)

陸上(ハードル) 齋藤 嘉彦



社会人になっても選手として活躍現在は、高校の教諭をつとめ、陸上部のコーチとして活躍しているよ

世界で活躍しようとしたら思い切りのいい、勝つか負けるかのレースをしないと勝負には勝てないぞ

え・伊東章夫

ハードル選手の齋藤嘉彦さんだよ

はいはい

小学校のころは野球に熱中。足がはいいので盗塁がうまかった

はい

中学校では陸上部に入りハードルを始めた

どうしたら速く走れるのかな

高校ではバレーボール部の入部も考えたでも、身長が低かったので断念陸上部に入り、佐藤先生のもとで本格的に陸上を始める

ちよつと無理かな

自分で考えて練習をしろ

陸上部の恩師 佐藤先生

一九九一年のバルセロナオリンピックピックスマヘインでは四〇〇mハードルと四×四〇〇mリレーに出場

四〇〇mハードルでは四九秒〇二のアジア・日本新記録を出したが、予選を突破することができなかった

世界の壁は厚かったよ

大学時代は世界に挑戦

一九九〇年アジアシニア選手権(北京)で四〇〇mハードルと四×四〇〇mリレーで優勝

国内の大会でも常に上位にランクされた

自分でなんとかしなくては... いろいろな練習をかきね、実力を伸ばしていったよ

一九八九年全国高校総合体育大会四〇〇mハードルでは五秒八六の記録で優勝

やったね

●プロフィール 一九七二年二月十二日、岡市出身。西中学校時代に陸上部でハードル走をはじめ。県立富岡高校陸上部時代に全国高校総体(一九八九年度・高知県)において、四〇〇mハードルで優勝。法政大学時代にはアジアジュニア選手権(一九九〇年度・北京市)では四〇〇mハードル、四×四〇〇

mリレーで優勝。一九九二年にはスペイン・バルセロナオリンピックへ出場し、四〇〇mハードルでアジア・日本新記録(予選落ち)を出す。大学卒業後は東和銀行・群馬総合方イードシステムにおいて社会人選手として活躍。現在、東京農業大学第二高校教諭として、陸上部の指導にあたっている。

主な成績

- 八九年 全国高校総体高知県 四〇〇mハードル優勝
- 八九年 シニアアジア選手権 四〇〇mハードル、四×四〇〇mリレー優勝
- 九二年 関東インターカレッジ 四〇〇mハードル優勝、総勢シニア日本新記録
- 九二年 日本インターカレッジ 四〇〇mハードル優勝
- 九二年 世界選手権予選大会 四×四〇〇mリレー(五分三秒三〇)アジア日本新記録
- 九二年 日本選手権 四〇〇mハードル優勝(五秒八六)アジア日本新記録
- 九八年 日本選手権 四〇〇mハードル優勝(四分四秒六四)アジア日本新記録